

五度目のワールドゲームズ

報告・写真

パワーハウス 福島 友佳子

ポーランドのヴロツワフで開催されたワールドゲームズに出場してきました。

日本選手団は阿南団長、佐藤選手(速太郎道場)大谷選手(ESQUATIR)濱田選手(個人)本宮コーチ(速太郎道場)小笠原コーチ(ESQUATIR)と私の7名でした。

ワールドゲームズは、4年に1度開催されオリンピックに採用されていない競技の国際総合競技大会です。



私は2001年に開催された、ワールドゲームズ秋田大会の初出場から今回のポーランド、ヴロツワフ大会で5回目の出場となりました。

これは全競技のなかで日本人選手の最多出場となります

ワールドゲームズでのパワーリフティング競技は3日間で開催されるため、男女とも4つの階級に縮小され分けられます。

私のエントリー階級はライトウエイト級となり10名で戦い順位はフォーミュラポイントで決まります。

この大会の選手選考は、昨年の世界選手権で47キロ級・52キロ級の3位までの6名とその2階級でフォーミュラポイントの高い人から4名選出されたまさに世界最高峰の大会です。

普段は戦わない階級の選手との勝負があります。

ワールドゲームズが開催された音楽ホール

会場は街の中心部から徒歩10分位の「National Forum of Music」という立派な音楽ホールでした。

使用器具はエレイコでワールドゲームズのロゴが入った特別なものでした。

またアップ場にも1人に1台のエレイコが用意されていて自分のペースでアップが出来て選手にとってありがたい環境でした。

ワールドゲームズは1グループで競技が進められるので種目間が20分しかありません。

これは観客にとっては観戦しやすいです。

しかし選手にとっては大変で、過去4回の経験から、特にスクワット終了後にスーパースーツ脱ぎ、ベンチのノーギアアップ、ベンチシャツを着てアップを短時間で終わらせる練習をしておかないと対応が出来ないことは分かっていたので、全日本パワーのピーキング時から取り入れていました。

その甲斐もあり当日は慌てることもなく、いつものアップが出来ました。

また、今回のワールドゲームズでは徹底したドーピング検査が実施されました。

4月末に出場の日本選手全員に競技会外の抜き打ち検査がありました。



そして、ヴロツワフの会場で前日練習をした時に大谷選手が抜き打ち検査を受けました。

その際、他国の選手も複数人いたそうです。

私は競技後にいつもどおりの尿検査と海外では初の血液でのドーピング検査を受けました。

濱田選手も競技後に受けたので現地では日本選手4名中3名が検査を受けました。

もちろん他国の選手も多くの方が検査を受けました。



スタートは手堅く170kg、三本目の185kg成功は圧巻。



I P F のパワーリフティングのクリーンさを証明したい！！という強い気持ちを感じました。

さて私の試合ですが、メインセコンドは大谷選手にお願いをしてサブセコンドには小笠原君がついてくれました。

全日本パワー前に ESQUATIR ジムでバンテージ等を合わせてもらったので何の心配もなく試合に



ライバル台湾のチェンを破って、銀メダルを獲得。メダルを噛める福島選手

臨めました。

阿南団長からは事前にライバル選手の過去の試合を細かく分析したデータをいただき参考になりました。

また、試合当日も相手の動きを見ながら的確なアドバイスをいただきました。

私の試合の後のグループに佐藤選手が出場でしたのでアップ場には常に日本選手団の皆さん全員がいてくれたので本当に心強かったです。

何度も試合を重ねてもスクワットの第一試技は緊張します。

全日本パワーからギア練習はやらなかったので第一試技は全日本パワーより5キロ上げて170キロにして成功。

第2試技は180キロを白2、赤1で成功させたので、次は185キロを申請しましたが、少ししてから陪審員の判断で判定が覆り180キロは失敗試技となりました。

この時は本当に焦りましたが次の3本目を落とすとメダル獲得が厳しくなるのは分かっていたのでバンテージを魂込めて巻いてくれているセコンドの大谷君に「185キロを絶対にバンテージつぶして立ってくる」と言って強い気持ちで挑み、白3つで成功させました。

バックヤードに戻った時にセコンドの2人が笑顔で迎えてくれたことが凄く嬉しく、このまま笑顔で試合を終えるために残りの2種目も成功試技を重ねようと強く思いました。

ベンチプレスの第一試技は125キロで成功。

プラットフォーム後方に大きなスクリーンがありそこに自身の動きが映しだされるので、ベンチプレスの試技中に凄く気になってしまいました。

第2試技はM1世界新の132・5キロで成功。

第3試技は135キロ成功でM1世界新&日本新。

デットリフトのスタート重量でロシアの Natalia 選手に次いで2位。

申請重量を2.5キロ上げて157.5キロにして首位にたつ作戦もありましたが予定通り155キロで1本目を成功させました。

2本目は165キロで成功しましたがフィニッシュの際、両足のカーフが攣りました。

この状態だと引けたとしても170キロかなと思いき3本目は170キロを申請。

現段階で1位の Natalia 選手と3位の台湾の Chen 選手の2本目の引きを見てもらい今大会の Chen 選手は調子が良くないので追いあげてこないと思いき1位狙いの172.5キロに重量変更をしました。

この素晴らしいステージでの最終試技は引いたら暫定1位になるということもあり、観客も盛り上げてくれましたがカーフに力が入らずファーストプルで我慢できなく背中が丸まり膝上でバーがとまり引けませんでした。

トータルは485キロのM1世界新でした。

私の失敗をみて Natalia 選手は3本目をパスし Chen 選手は私に逆転する為に197.5キロに挑みましたが失敗となりました。



セコンドを務めたエスカティアの大谷選手(左)と小笠原さん(右)

ライトウエイト級はロシアの Natalia 選手が665.54ポイントで金メダル

私が657.90ポイントで銀メダル、Chen 選手が634.54ポイントで銅メダルとなりました。

最終日のバンケットでは全階級で競うベストリフターで2位の表彰を受けました。

前回のワールドゲームズカリ大会の後に「4年後のポーランド開催のワールドゲームズでもメダルを！！」とセコンドの主人と目標を掲げ、日々練習してきました。

ワールドゲームズは福島家にとって特別な大会です。

今回、目標を達成出来た事、本当に嬉しく思います。

これも、阿南団長をはじめ試合は勿論、その他の時間まで私の事を優しく楽しくサポートしてくれた日本選手団の皆さん、練習時からお世話になっているパワーハウスメンバー、どんな時も励ましてくあさる尊敬する先輩選手のカオリさん、真由美さん、応援して下さる全国の皆さん、そして何時もそばにいて最大のサポートをしてくれる家族に心から感謝しています。

本当にありがとうございました。

これからも1つ1つ積み重ねていき4年後のアメリカで開催されるワールドゲームズでも出場出来るよう精進していきますので皆様のご指導ご鞭撻、よろしく願いいたします。



ベストリフター2位、立派、福島友佳子選手！！

INTERNATIONAL POWERLIFTING FEDERATION
World Games /Women's/ 2017, Wroclaw (Poland), 24-26.07.2017
DETAILED SCORESHEET

PL.	Lifters	BY	Team	Weight	WF	Lot	All Squat			All Bench Press				All Deadlift			TOTAL	W.pts.		
Light																				
1.	Salnikova Natalia	1986	RUS	50,88	1,2677	5	195,0	205,0	210,0	1	127,5	132,5	135,0	3	170,0	180,0	X	2	525,0	665,54
2.	Fukushima Yukako	1970	JPN	46,44	1,3565	4	170,0	180,0	185,0	4	125,0	132,5-w1	135,0-w1	2	155,0	165,0	172,5	3	485,0 -w1	657,90
3.	Chen Wei-Ling	1982	TPE	44,27	1,4023	2	175,0	175,0	185,0	2	80,0	85,0	87,5	7	170,0	180,0	197,5	1	452,5	634,54
4.	Vasquez Maria Luisa	1983	PUR	45,41	1,3781	1	175,0	177,5	182,5	3	105,0	105,0	110,0	4	155,0	160,0	160,0	5	452,5	623,59
5.	Dominguez Maria	1995	VEN	51,99	1,2468	3	180,0	187,5-wj	192,5	5	145,0	147,5-w	150,0-w	1	162,5	170,0	175,0	9	500,0 -wj	623,40
6.	Duno Frankmary	1987	VEN	46,14	1,3628	8	170,0	177,5	177,5	6	110,0	115,0	115,0	5	155,0	160,0	162,5	4	442,5	603,04
7.	Klymenko Kateryna	1985	UKR	51,88	1,2489	6	170,0	175,0	180,0	7	110,0	117,5	120,0	6	165,0	172,5	177,5	7	467,5	583,86
8.	Puddicombe Stephanie	1986	CAN	51,67	1,2528	9	170,0	177,5	180,0	8	82,5	87,5	95,0	9	172,5	175,0	180,0	6	432,5	541,84
9.	Martin Vanessa	1976	FRA	51,75	1,2513	7	165,0	170,0	170,0	9	92,5	97,5	102,5	8	155,0	160,0	165,0	8	432,5	541,19
—	Felinska Olimpia	1992	POL	51,73	1,2517	10	170,0	170,0	170,0	—	80,0	85,0	87,5	10	140,0	150,0	155,0	10	DSQ	—
Middle																				
1.	Soloviova Larysa	1978	UKR	62,94	1,0747	4	215,0	225,0	225,0	4	160,0	170,0	180,0	2	200,0	210,0	220,0	5	605,0	650,19
2.	Ryzhkova Anna	1986	RUS	56,92	1,1617	6	205,0	215,0	220,0	2	130,0	140,0	145,0	5	185,0	192,5	200,0	6	552,5	641,84
3.	Wu Hui-Chun	1986	TPE	58,94	1,1304	9	190,0	200,0	205,0	7	130,0	140,0	145,0	4	195,0	200,0	202,5	2	552,5	624,55
4.	Ochoa Vargas Vilma	1980	ECU	53,38	1,2216	7	205,0	212,5	217,5	1	105,0	112,5	115,0	8	170,0	180,0	187,5	1	505,0	616,91
5.	Adamovich Olga	1991	RUS	61,60	1,0925	1	215,0	222,5	227,5	3	132,5	137,5	137,5	6	190,0	200,0	212,5	7	560,0	611,80
6.	Tavares Cicera	1976	BRA	61,80	1,0898	10	215,0	215,0	220,0	6	122,5	122,5	127,5	7	210,0	210,0	222,5	3	552,5	602,11
7.	Bueno Erica	1980	BRA	58,71	1,1339	8	185,0	192,5	197,5	8	147,5	155,0	155,0	3	182,5	187,5	192,5	8	530,0	600,97
8.	Monserrate Kenia	1991	ECU	57,19	1,1574	5	190,0	200,0	207,5	5	95,0	102,5	107,5	9	180,0	190,0	195,0	4	510,0	590,27
9.	Von Bachhaus Gundula Fiona	1981	GER	61,82	1,0895	2	150,0	165,0	180,0	9	155,0	170,0	185,5	1	160,0	175,0	187,5	9	537,5	585,61
—	Ruiz Egdimar	1991	VEN	52,19	1,2431	3	190,0	195,0	197,5	—	X	X	X	—	X	X	X	—	DSQ	—
Heavy																				
1.	Castellain Ana	1985	BRA	66,96	1,0265	1	240,0	247,5	252,5	1	167,5	172,5	175,0	1	200,0	205,0	212,5	4	635,0	651,83
2.	Ribic Priscilla	1972	USA	69,94	0,9954	9	235,0	235,0	250,0	5	150,0	160,0-w1	162,5	4	227,5	240,0	260,0	2	635,0 -w1	632,08
3.	Canelon Yenifer	1987	VEN	63,02	1,0737	6	225,0	235,0	240,0	2	125,0	132,5	137,5	8	220,0	227,5	227,5	3	587,5	630,80
4.	Elverum Marte	1990	NOR	71,57	0,9800	8	235,0	242,5	242,5	4	135,0	140,0	145,0	9	232,5	237,5	248,5-w	1	631,0	618,38
5.	Stinn Rhaea	1988	CAN	71,01	0,9852	4	230,0	237,5	247,5	3	157,5	165,0	165,0	5	200,0	207,5	212,5	7	612,5	603,43
6.	Orsini Antonietta	1964	ITA	64,32	1,0573	2	205,0	205,0	212,5	6	140,0	140,0	140,0-w2	7	190,0	202,5	215,0	5	555,0	586,80
7.	Timmers Ankie	1986	NED	71,34	0,9821	7	210,0	217,5	220,0	8	152,5	157,5	160,0	6	210,0	217,5	222,5	6	595,0	584,35
8.	Medvedeva Yulia	1986	RUS	63,21	1,0713	3	205,0	215,0	215,0	7	145,0	152,5	157,5	2	160,0	170,0	X	9	527,5	565,11
9.	Aguinaga Johanna	1993	ECU	64,98	1,0493	5	190,0	195,0	195,0	9	155,0	160,0	160,0	3	165,0	175,0	180,0	8	525,0	550,88
10.	Du Toit Chantelle	1985	RSA	71,78	0,9780	10	145,0	155,0	162,5	10	105,0	110,0	110,0	10	150,0	160,0	167,5	10	432,5	422,99
SuperHeavy																				
1.	Lough Bonica	1988	USA	130,97	0,7873	6	297,5	310,5-w	315,0	1	205,0	205,0	215,0	3	227,5	240,0	247,5	5	763,0 -w	600,71
2.	Melnyk Tetyana	1985	UKR	73,25	0,9651	8	230,0	237,5	245,0	3	165,0	170,0	175,0	2	190,0	200,0	205,0	4	620,0	598,36
3.	Blyn Liane	1972	USA	79,48	0,9184	3	235,0	242,5	247,5	5	175,0	175,0	182,5	1	210,0	217,5	227,5	3	642,5	590,07
4.	Strik Ielja	1973	NED	84,50	0,8891	2	237,5	250,0	255,0	4	172,5	172,5	172,5	5	205,0	212,5	217,5	7	640,0	569,02
5.	Tishakova Yevheniia	1989	UKR	80,87	0,9096	5	260,0	270,0	270,0	2	135,0	140,0	140,0	8	210,0	220,0	230,0	2	620,0	563,95
6.	Arnesen Hille Heidi	1970	NOR	83,76	0,8930	4	240,0	247,5	252,5	6	140,0	145,0	150,0	7	207,5	212,5	215,0	6	607,5	542,50
7.	Wierzbicka Marzena	1989	POL	74,23	0,9569	1	210,0	220,0	220,0	7	120,0	125,0	130,0	9	200,0	210,0	210,0	1	560,0	535,86
8.	Sindikas Nadezhda	1986	RUS	82,60	0,8994	10	220,0	225,0	240,0	10	140,0	150,0	150,0	6	190,0	200,0	202,5	9	577,5	519,40
9.	Szabo Agnes	1988	HUN	116,99	0,8033	7	240,0	255,0	260,0	8	190,0	190,0	195,0	4	190,0	200,0	202,5	10	645,0	518,13
10.	Chang Ya-Wen	1984	TPE	96,24	0,8427	9	235,0	245,0	250,0	9	145,0	145,0	145,0	10	205,0	217,5	227,5	8	607,5	511,94

Abbreviations:

nb - New pers. bestlifts; n - National Record; c - Continental Record; w - World Record; cp - Competition's Record;

1..4 - Master's Record; j - Junior's Record; s - Subjunior's Record; ps. - Personally; X - the refused attempt.

DSQ - Disqualification; DR - Removed by a Doctor; TD - Technical Disqualification; DD - Doping Disqualification.

BRA = Brazil JPN = Japan TPE = Chinese Taipei

CAN = Canada NED = Netherlands UKR = Ukraine

ECU = Ecuador NOR = Norway USA = U.S.America

FRA = France POL = Poland VEN = Venezuela

GER = Germany PUR = Puerto Rico

HUN = Hungary RSA = South Africa

ITA = Italy RUS = Russia

INTERNATIONAL POWERLIFTING FEDERATION
World Games / Men's/ 2017, Wroclaw (Poland), 24-26.07.2017
DETAILED SCORESHEET

PL.	Lifters	BY	Team	Weight	WF	Lot	All Squat			All Bench Press			All Deadlift			TOTAL	W.pts.		
Light																			
1.	Fedosienko Sergey	1982	RUS	55,86	0,9126	5 260,0	280,0	290,0	1	185,0	192,5	197,5	1	240,0	260,0	260,0	2	742,5	677,61
2.	El Belghiti Hassan	1975	FRA	65,62	0,7889	1 280,0	290,0	300,0	4	162,5	167,5	170,0	9	295,0	307,5-w1	315,0-w	1	772,5	609,43
3.	Okpoko Charles	1995	USA	65,42	0,7909	7 302,5	312,5	312,5	2	190,0	197,5	200,0	4	250,0	257,5	257,5	6	770,0	608,99
4.	Hsieh Tsung-Ting	1982	TPE	64,50	0,8004	4 265,0	265,0	275,0	8	200,0	207,5	210,0	3	265,0	275,0	280,0	4	755,0	604,30
5.	Leon Franklin	1983	ECU	59,25	0,8628	9 260,0	270,0	280,0	3	165,0	172,5	177,5	6	225,0	235,0	242,5	7	692,5	597,49
6.	Savolainen Antti	1978	FIN	65,67	0,7884	3 255,0	265,0	270,0	7	190,0	195,0	200,0	5	270,0	285,0	297,5	3	755,0	595,24
7.	Lin Yi-Chun	1994	TPE	59,51	0,8593	8 245,0	255,0	260,0	6	155,0	162,5	170,0	8	240,0	250,0	257,5	5	687,5	590,77
8.	Sato Yoshihiro	1982	JPN	65,35	0,7916	2 255,0	265,0	265,0	9	210,0	215,0	221,0	2	220,0	235,0	237,5	9	715,0	565,99
9.	Wszola Dariusz	1978	POL	58,78	0,8692	6 245,0	252,5	260,0	5	165,0	170,0	170,0	7	205,0	212,5	217,5	8	647,5	562,81
Middle																			
1.	Olech Jaroslaw	1974	POL	71,52	0,7373	10 340,0	355,0	365,0	1	207,5	212,5	212,5	8	290,0	307,5	315,0	1	882,5	650,67
2.	Rysiyev Volodymyr	1982	UKR	82,60	0,6694	5 342,5	352,5	360,0	2	245,0	252,5	260,0	6	310,0	325,0	332,5	2	945,0 -w	632,58
3.	Naniev Andriy	1984	UKR	82,83	0,6683	7 337,5	347,5	355,0	6	257,5	268,5-w	272,5	1	300,0	310,0	315,0	4	931,0	622,19
4.	Prokopenko Andrey	1988	KAZ	74,37	0,7168	3 310,0	320,0	327,5	5	225,0	232,5	237,5	3	285,0	297,5	302,5	3	867,5	621,82
5.	Ramzy Adam	1990	CAN	81,28	0,6760	9 335,0	345,0	352,5	4	255,0	260,0	260,0	2	305,0	310,0	315,0	5	917,5	620,23
6.	Douglas Paul	1989	USA	82,76	0,6686	2 345,0	352,5	357,5	3	215,0	222,5	225,0	9	310,0	320,0	320,0	6	890,0	595,05
7.	Roelvaag Kim-Raino	1986	NOR	81,95	0,6726	8 317,5	322,5	330,0	8	245,0	245,0	252,5	4	270,0	280,0	290,0	9	872,5	586,84
8.	Hamada Nobuyuki	1969	JPN	73,39	0,7236	1 290,0	290,0	300,0	10	220,0	227,5-w1	230,0	7	260,0	270,0	275,0	8	792,5	573,45
9.	Otani Norihiro	1980	JPN	72,44	0,7304	4 290,0	290,0	307,5	9	232,5	232,5	232,5	5	240,0	250,0	260,0	10	772,5	564,23
10.	El Fekair Rabah	1987	ALG	75,44	0,7097	6 310,0	312,5	320,0	7	140,0	145,0	150,0	10	270,0	285,0	300,0	7	750,0	532,27
Heavy																			
1.	Bilyi Sergii	1990	UKR	98,11	0,6134	8 385,0	400,0	407,5	2	285,0	295,0	297,5	3	350,0	362,5	375,0	2	1080,0 -w	662,47
2.	Inzarkin Dmitry	1987	RUS	91,27	0,6339	4 360,0	370,0	370,0	6	275,0	282,5	290,0	4	330,0	345,0	350,0	3	992,5	629,15
3.	Semenenko Dmytro	1988	UKR	104,08	0,5994	2 415,0	432,0-w	440,5	1	265,0	272,5	280,0	7	330,0	342,5	342,5	8	1042,0	624,57
4.	Belkesir Sofiane	1984	FRA	104,70	0,5982	6 377,5	390,0	395,0	3	265,0	272,5	275,0	8	340,0	355,0	362,5	6	1017,5	608,67
5.	Bell Ian	1992	USA	92,67	0,6293	3 345,0	357,5	365,0	7	217,5	225,0	230,0	10	357,5	371,0-w	380,0	1	958,5	603,18
6.	Stendebach Sascha	1991	GER	92,79	0,6289	1 337,5	337,5	345,0	10	265,0	270,0	275,0	5	335,0	342,5	347,5	5	955,0	600,60
7.	Walgermo Stian	1988	NOR	104,96	0,5976	7 382,5	390,0	X	5	282,5	282,5	287,5	6	305,0	315,0	322,5	9	987,5	590,13
8.	Coimbra David	1983	BRA	91,96	0,6316	11 320,0	325,0	340,0	9	232,5	247,5	257,5	9	327,5	345,0	371,5	4	932,5	588,97
9.	Conner Charles	1989	USA	103,15	0,6014	10 370,0	372,5	382,5	4	312,5	325,0	325,0	2	265,0	280,0	290,0	11	975,0	586,37
10.	Wegiera Jan	1965	POL	92,92	0,6284	9 320,0	340,0	350,0	8	290,0	300,0	305,5	1	260,0	280,0	280,0	10	930,0	584,41
—	Eikeland Kristoffer	1989	NOR	104,98	0,5976	5 350,0	355,0	360,0	11	290,0	295,0	295,0	—	325,0	340,0	350,0	7	DSQ	—
SuperHeavy																			
1.	Rokochiy Oleksiy	1981	UKR	122,32	0,5724	5 415,0	432,5	435,0	2	300,0	310,0	317,5	4	340,0	350,0	355,0	3	1105,0	632,50
2.	Cappellino Joseph	1988	USA	166,26	0,5450	2 440,0	440,0	440,0	3	350,0	350,0	360,0	2	335,0	355,0	372,5	6	1125,0	613,13
3.	Yeshmakanov Nurlan	1990	KAZ	117,61	0,5777	6 375,0	375,0	390,0	5	270,0	280,0	290,0	5	320,0	340,0	365,0	2	1045,0	603,70
4.	Lupac David	1991	CZE	145,32	0,5558	8 415,0	415,0	425,0	4	320,0	330,0	335,0	3	320,0	340,0	350,0	5	1085,0	603,04
5.	Wierzbicki Krzysztof	1990	POL	105,07	0,5974	4 285,0	300,0	X	7	175,0	190,0	200,0	8	388,0-w	408,5-w	420,0-w	1	920,0	549,61
6.	Stinn Ryan	1981	CAN	144,25	0,5564	10 380,0	385,0	385,0	6	285,0	295,0	295,0	7	280,0	295,0	305,0	7	965,0	536,93
—	Bychkov Oleksiy	1985	UKR	119,80	0,5751	3 405,0	410,0	410,0	—	X	X	X	—	X	X	X	—	DSQ	—
—	Jaeger Kevin	1995	GER	129,83	0,5657	7 392,5	392,5	392,5	—	390,0	X	X	—	X	X	X	—	DSQ	—
—	Johannsson Julian J.K.	1993	ISL	166,24	0,5451	9 395,0	405,0	405,0	—	295,0	305,0	315,0	6	330,0	350,0	370,0	4	DSQ	—
—	Sumner Blaine	1987	USA	175,21	0,5405	1 475,0	475,0	475,0	1	405,0	425,0	425,0	1	325,0	325,0	325,0	—	DSQ	—

Abbreviations:

nb - New pers. bestlifts; n - National Record; c - Continental Record; w - World Record; cp - Competition's Record;

1..4 - Master's Record; j - Junior's Record; s - Subjunior's Record; ps. - Personally; X - the refused attempt.

DSQ - Disqualification; DR - Removed by a Doctor; TD - Technical Disqualification; DD - Doping Disqualification.

ALG = Algeria

FRA = France

POL = Poland

BRA = Brazil

GER = Germany

RUS = Russia

CAN = Canada

ISL = Iceland

TPE = Chinese Taipei

CZE = Czechia

JPN = Japan

UKR = Ukraine

ECU = Ecuador

KAZ = Kazakhstan

USA = U.S.America

FIN = Finland

NOR = Norway